



TeaTime

vol. 93

2025
Summer

無料配布

特集 ▶P.3

自分らしいお産のために

赤ちゃんとお母さんに やさしい病院を目指して



▶P.2

新任副院長・部長ご挨拶

▶P.8

外来化学療法室は
2025年3月31日に7階7Aに移転しました。

HAPPY BIRTH ROOM ▶P.9

NICUを増床しました!

新生児科部長 中尾 厚

Topics ▶P.10

『医療安全標語コンテスト』を開催

医療安全推進室 大久保 英恵

待ち時間なしの医療費決済サービス

「待たずにラク〜だ」利用できます

スマイルレシビ ▶P.11

オクラとしらすの梅和え 栄養課 高橋明希

▶P.12

手続きラクラク。

マイナ保険証が、あなたの医療を快適に

副院長就任の挨拶

院内外の連携でつくる 出産と子育ての安心

このたび副院長を拝命いたしました。私は産婦人科医ですが、周産期・小児医療はがん診療や救急医療と並んで当センターの大きな柱です。特に最近ニーズの高い無痛分娩については麻酔科との連携により対応を拡充し、初産の方含め原則終日対応できるようになりました。産後ケア入院も多くの方にご利用いただいております。地域で安心して出産・子育てができるよう、院内各診療科や連携医療機関と協力してさらなる充実に努めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長 木戸 道子
Michiko Kido



就任の挨拶

血液疾患はお任せください

4月1日より血液内科部長を拝命いたしました。当センターでは全国でもトップレベルの多発性骨髄腫およびALアミロイドーシスの患者さんを診療しています。その他の血液疾患についても最先端の診療を心がけていますのでお気軽にご相談下さい。

皮膚症状を正しく診断・治療します

皮膚科の疾患は多岐にわたり、見た目が同じようでも診断、治療法が全く違うことも少なくありません。皮膚関係でお困りのことがありましたら、かかりつけの先生を通してご相談下さい。

安心安全な麻酔を心がけます

本年度より麻酔科部長を拝命いたしました。麻酔科医は、手術に臨まれる患者さんのご不安を少しでも取り除き、手術中のみならず手術前後も安全にお過ごしいただけるよう尽力いたします。手術前にお話しさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

災害時でも医療を届けるために

令和7年度より国内医療救護部長を拝命しました。国内医療救護部は多様化するさまざまな国内の災害に対応すべく、災害拠点病院としての機能を維持するために整備しています。有事の際は入院外来患者さんや職員、地域、都民、国民の皆さまの災害救護を提供します。



国内医療救護部長 諸江 雄太
Yuta Moroe



麻酔科部長 諏訪 潤子
Junko Suwa



皮膚科部長 竹腰 知紀
Tomonori Takekoshi



血液内科部長 塚田 信弘
Nobuhiro Tsukada



特集

自分らしいお産のために 赤ちゃんとお母さんに やさしい病院を目指して

奇跡の瞬間でもあり、命がけでもある出産——

当センターでは、妊娠中の不安を和らげ、産後や育児もサポートします。

また、関心が増えている無痛分娩も実施しています。

安心して出産・育児ができるための当センターの取り組みを紹介します。

お話を聞いたのは、第三産婦人科の細川さつき医師、麻酔科の浅野哲医師、MFICUの佐藤梨菜さんです。



第三産婦人科 医師 細川さつき
Satsuki Hosokawa



麻酔科 医師 浅野 哲
Tetsu Asano



MFICU 看護師 佐藤梨菜
Rina Sato

お産の「最後の砦」

—産婦人科の強みや特徴について教えてください。

細川…当センターは出産の支援だけでなく、合併症妊娠の方や、多胎妊娠や子宮内胎児発育遅延などさまざまなハイリスク妊娠管理にも対応しています。分娩室には夜間や休日も含めて医師が3名常駐しています。

また、当センターは2000年8月に世界保健機関(WHO)と国連児童基金(UNICEF)から「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受けました。これは、母乳育児に積極的に取り組んでいる体制を評価いただいたものです。私たちはさらに、「お母さんにもやさしい病院」を目指しています。家庭的な雰囲気の中で安全にリラックスできるように配慮しています。妊産婦さんとご家族が「いいお産だった」と感じる



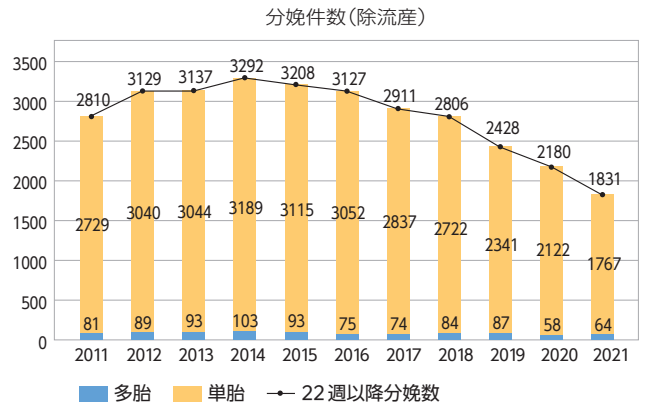
Baby Friendly Hospital

と同時に元気に育児が始まるようなお産のお手伝いをしたいと考えています。

もう一つの特徴は、東京都の母体救命対応総合周産期母子医療センター(スーパージン総合周産期センター)の1つに指定されていることです。母体が急変し、命に関わる疾患が生じた場合、妊産婦さんを必ず受け入れ、治療を行う施設のことであり、多くは救急搬送されてきます。例えば、産後の大量出血や分娩進行のけいれん発作などには、他院で分娩の経過中の方が搬送されます。他にも、脳血管障害や交通事故などの救急疾患を起こした妊産婦さんの治療にあたります。東京都でのお産における「最後の砦」として位置付けられているので、産科だけでなく救急科や脳神経外科、内科、放射線科のスタッフと協力して24時間365日対応できる体制を整えています。

妊娠や出産そのものは生理的な営みの一つであって病気ではないのですが、あるとき急に危険な状態となることがあります。お産は人生における大切なイベントであることを尊重しながらも、何か起きたときにはすぐに治療を始められるよう、緊張感をもって診療にあたっています。

日本赤十字医療センター 分娩件数 推移



産科の安全安心の体制



YouTube動画

希望するお産ができる いろいろな分娩室

—妊娠してから出産までの流れを教えてください。

佐藤…当センターを最初に受診した際に、マタニティノートをお渡ししています。その中には、妊娠中に受ける検査の種類や入院中に必要なもの、出

産後の手続き、妊娠中から出産後の栄養管理など、妊娠から産後、育児をイメージしてご自身が心身に準備をしていたりするようにお伝えしています。また、LINEを利用した情報提供システムによって、妊娠週数に応じた検査や保健指導を提供しています。

経過が順調であれば、妊娠22週以降は医師と助産師が交互に妊婦健診を担当する「チーム健診」を行なっています。妊娠中のマイナートラブルや上のお子さんとの関わり方など、助産師に何でも気軽に相談していただけます。また、妊娠中に、出産に対する考え方や希望を「バースプラン」として書いてもらいます。それを医師と助産師と共有し、なるべく本人の希望するお産になるようサポートをします。

細川…バースプランを夫婦で書いてもらうことで、赤ちゃんを迎える上でどんなことを叶えたいのか、どんな想いで赤ちゃんを迎えたいのか、夫婦で話し合う機会にもなります。

チーム健診については、助産師外来で正常と異なる所見があればすぐに医師外来として対応しますし、精神的な不安が大きい場合には助産師と情報共有するなど、連携して妊婦健診にあ



一般分娩室



豊付き分娩室



分娩手術室



水中分娩室

分娩室ツアー



YouTube動画



たっているのも当センターの特徴です。

——分娩室はどうなっていますか。

佐藤..分娩室(LDR※)はリラックスできるよう、基本的には医療機器が見えないようにしています。一般分娩室は自宅のリビングルームのような内装になっていて、調光できる間接照明やダウンライトを多く使っています。他にも水中分娩室や、自由な姿勢で出産できる豊付き分娩室もあります。バースプランに合わせて部屋を選べま

す。希望があれば、お子さんも含めてご家族が分娩に立ち会えます。

細川..近隣の産科診療所や助産院と連携するオープン・セミオープンシステムを利用して、普段の妊婦健診は自宅近くの施設で健診を受け、妊娠後期から分娩を担当センターが担当します。連携した助産院の助産師が当センターでお産を担当するオープンシステムもあります。

当センターでは分娩室に隣接して分

娩手術室が2部屋あり、緊急に帝王切

開手術が必要になっても5分以内に移動して15分以内に赤ちゃんを娩出できる体制になっています。同じフロアに新生児科の新生児集中治療室(NICU)もあり、赤ちゃんの状態が不安定なときにはすぐに新生児科の医師が駆けつけてくれます。こうしたことも当センターの強みです。

気になる無痛分娩のこと

——東京都が無痛分娩の助成制度を2025年10月から始めるというニュースがありました。無痛分娩について詳しく教えてください。

浅野..無痛分娩は最近になって脚光を浴びていますが、日本では何十年も前から行われてきました。実は私も58年前に無痛分娩で生まれているんです。

無痛分娩は、薬を使って分娩時の痛みを和らげた状態で分娩することで。麻酔を使うときには、私のような麻酔科医も参加します。今回の東京都の助成対象も、麻酔による無痛分娩を受けた方となっています。無痛分娩の麻酔のほとんどは硬膜外麻酔という方

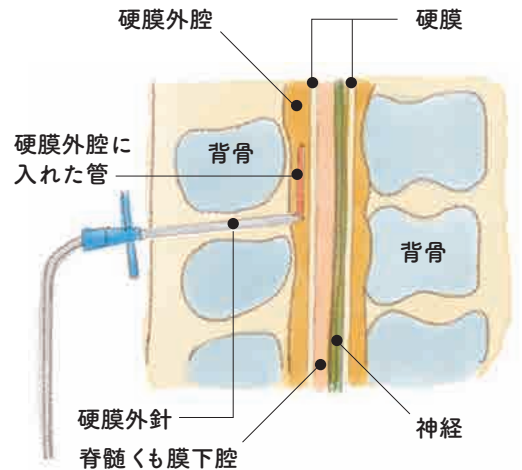
法です。脊髄神経を覆っている硬膜の外側の空間を硬膜外といい、そこにカテーテルという細いチューブを使って麻酔を流し込みます。へそから足まで部分的に麻酔が効き、上半身には影響しない方法です。

——硬膜外麻酔による無痛分娩のメリットとデメリットは何ですか。

浅野..最大のメリットは鎮痛作用です。その一方で、麻酔が効きすぎて痛みがなくなると、逆にお産が進みにくくなるという特徴があります。人によって痛みに対する感覚は違うので、痛すぎず、麻酔が効きすぎずというバランスを探ることを毎回心がけています。私は男性なので分娩の痛みを完全に把握することはできませんが、例えば「一番痛いのが10点としたら今は何点ですか?」と妊婦さんに聞き、どれくらいの麻酔の量が一番いいのかを考えながら痛みの緩和を目指しています。

細川..麻酔を使うと母体の血圧が下がったり、赤ちゃんの心拍に変化が生じることがあります。麻酔を使うときは必ず産科の医師が立ち会って、お母さんと赤ちゃんの状態に変化がないかをチェックします。

硬膜外麻酔



© 日本産科麻酔学会

無痛分娩（硬膜外麻酔分娩）件数

2021年	20件(6~12月)
2022年	106件
2023年	163件
2024年	233件

—どんな人が無痛分娩を行うことが多いのですか。

浅野.. 心疾患や脳血管疾患などの病気がある方は、分娩時に合併症が悪化する可能性があるため、医学的な判断で無痛分娩を行う場合があります。そのほかは、多胎妊娠など産科的なリスクがなければ無痛分娩を希望できます。第1子を産んだときにとっても苦しい思いをしたり、お母さんや妊婦さんのコミュニケーションで聞いたから詳しく知りたいなど、理由はさまざまです。

—無痛分娩を希望するときにはどうすればいいですか。

細川.. まずは担当の産科医または助産師にご希望をお知らせください。当

センターではマタニティクラスという、助産師によるオンライン説明会があり、その中で月に1回、硬膜外麻酔分娩のクラスがあります。当センターの産科を受診されている方は無料で参加でき、ウェブページから予約できます。妊娠後期に改めて要望を聞き、産科医が説明した上で、麻酔科医による詳しい説明があります。

浅野.. 麻酔科では無痛分娩についてまとめた冊子をお渡しします。約10分の説明動画を事前に見ていただき、診療で詳しい説明をしたりご質問にお答えします。そのときには麻酔による合併症の説明もします。どのような合併症があるのか、事前に知っておくこと

が、産婦さんの安心感につながると思っています。
細川.. 非常にまれですが、局所麻酔中毒や全脊髄くも膜下麻酔といった、一刻を争う合併症もあります。当センターではまだ発生したことはありませんが、産科、麻酔科医、救急科と合同でシミュレーションを行うなど、緊急時に備えています。
—他に無痛分娩で知っておくべきことはありますか。

細川.. 経産婦さんは計画分娩をおすすめしています。分娩誘発の反応がよいので、計画した日に出産できるのがほとんどです。一方で初産婦さんは自然陣痛が始まり、子宮口が5cmくらい

細川.. 経産婦さんは計画分娩をおすすめしています。分娩誘発の反応がよいので、計画した日に出産できるのがほとんどです。一方で初産婦さんは自然陣痛が始まり、子宮口が5cmくらい



に広がったタイミングで麻酔を投与することが多いです。痛みを和らげることは大事ですが、同時にお産が順調に進むことも大切です。麻酔については、24時間対応で行うようにしています。

浅野.. ただ、夜間や休日など、麻酔科の対応が難しいときもあります。それも希望者には事前に説明します。

細川.. 麻酔科が対応できないときは、産科で対応できる筋肉注射があります。ペチジン塩酸塩・レバロルファン酒石酸塩注射液というもので、鎮痛作用やリラックス効果があります。代わりになる方法もあると聞いて安心される方も多くいらっしゃいます。

—無痛分娩の費用と、東京都の助成制度について教えてください。

細川.. 硬膜外麻酔は、経産婦さんが10万円、初産婦さんが15万円です。なお、初産婦さんの方の費用は今後の状況によって変わる可能性があります。筋肉注射による鎮痛は1日あたり1万円です。

東京都の助成制度は、10月以降に出産された方で硬膜外麻酔または別の方法である脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔による無痛分娩を受けた方を対象に、



個室 (MSタイプ)



個室 (MLタイプ)



アメニティ



個室 (MAタイプ)

産後の
お部屋ツアー



YouTube動画



授乳や育児も しっかりケア

——産後、どのようなサポートを受けることができますか。

佐藤…産後は赤ちゃんと生活がスタートします。その中で母乳育児の授乳サポートから育児まで、お母さんの状況に合わせて助産師がそばで見守りサポートします。必要な時にはパートナーさんの宿泊も行い、一緒に育児を行うこともできます。

最大10万円が助成されます。当センターは助成対象となる医療機関に指定されています。

細川…他院で出産された方も含めて「産後ケア入院」を利用できます。母乳育児に関する不安だけでなく、産後の体力が回復しない、赤ちゃんと生活に慣れないなどの心配事について助産師がサポートします。

妊産婦さんへのメッセージ

妊

産婦さんと赤ちゃんがもっている力を引き出しながら、当センターが大事にしている「主体的に自分らしく満足できるお産」のための支援を行っています。当センターは産科・麻酔科・救急科とも連携し、安全な医療体制のもとフリースタイル分娩から硬膜外麻酔分娩など、さまざまな分娩に対応できます。妊産婦さんとお家族にとって満足できるお産を助産師として一緒にサポートしていきたいと思ひます。

MFICU 佐藤梨菜 看護師

麻

酔科医としては、硬膜外麻酔をしたら終わりではなく、お産が終わるまで妊婦さんとお話を続けてどんなお手伝いができるかを常に考えています。痛いからといって麻酔を使いすぎるわけにはいかないの、しっかり説明して納得していただけるよう心がけ、満足度の高い無痛分娩を目指しています。麻酔の合併症に不安があるかもしれませんが、しっかり説明しますので、安心して受診してください。

麻酔科 浅野哲医師

新

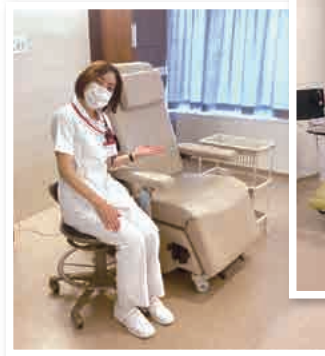
たな命の誕生というご家族にとって何にも代えがたい経験と、医療的な安全性が守られている状況の両方を提供したいと考えています。そのために、妊産婦さんとのコミュニケーションを大切にしています。当センターで硬膜外麻酔分娩を始めてから、麻酔科や救急科など他の科の先生たちとの連携がさらに深まっています。妊産婦さんとお家族にとっていいお産、安全なお産を提供できればと思います。

第三産婦人科 細川さつき医師

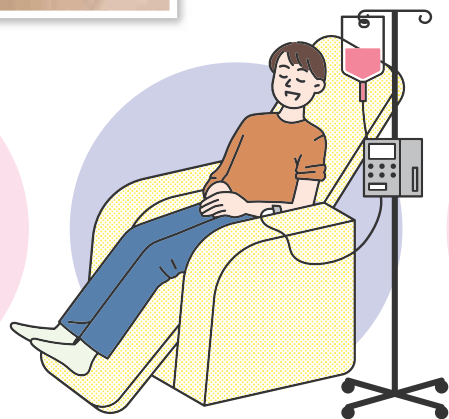
産科にかかるには



近隣のクリニックで紹介状のご用意ができましたら、産科外来にお電話ください。分娩のご予約は、原則妊娠20週までにお済ませください。



外来化学療法室は 2025年3月31日に 7階7Aに移転しました。



ゆとりある快適な空間に

これまでの2階の外来フロアとは違い、7階に上がるにはセキュリティカードが必要です。場所が少し遠くなったと負担を感じる方もおられるのではと心配しましたが、スムーズに来棟いただいています。点滴治療中はリクライニングチェアかベッドでお過ごしいただきます。これまでよりゆとりのある空間になり、「広くなって快適だ」という声を多くいただいています。

4床室7つに加え、個室を5室ご用意しております。ご希望の方にはプライベート空間での治療も可能です(別

途料金がかかります)。

外来化学療法室はスペースが広くなり、スタッフステーションと治療室の距離がありますが、これまで以上に、看護師、薬剤師、栄養士、クラークが連携し、一人ひとりの状況を共有しながら、きめ細やかな対応を徹底いたします。治療中に何かご不安なことやご要望がございましたら、遠慮なくお声がけください。安心して治療に専念できるよう、スタッフ一同サポートさせていただきます。

待合室

薬剤が調剤できるまでの時間を過ごしていただく待機場所を作りました。大型テレビでのスポーツ観戦や、患者さん向けの本を見ながら自由に過ごされています。

面談室・アピアランスケア

個室病室だったところを面談室として使用し、薬剤指導・外来化学療法オリエンテーション・アピアランスケア相談等を行っています。





NICUを増床しました！

当センターの新生児集中治療室(NICU)は1975年の開設以来、今年で50周年を迎えます。周産母子・小児センターのNICUとして、東京都の新生児医療の中核的な役割を果たしてきました。年間500人前後の新生児が入院し、その中には出生体重が500グラムに満たない赤ちゃんから、心臓や消化管、脳神経の手術が必要な赤ちゃんまで、生まれたばかりのさまざまな病気をもつお子さんが入院します。

少子化の進む日本において、東京都でも出生数は徐々に減少しつつありますが、重症な新生児を診療できる施設は限られており、都内はもとより都外からも診療の依頼があります。「入院依頼を断らない」ことをモットーに診療を行ってきた当NICUですが、より多くの重症なお子

んを受け入れるために、昨年2024年4月にNICUとをこれまでの15床から21床に増床しました。これまで通り、入院したお子さんは、我々新生児科が担当医となり、必要となれば多くの科と協働して診療に当たります。

現代の医療は昔と異なり、医師と看護スタッフのみで行うものではありません。薬剤師、心理士、保育士、リハビリテーション療法士、検査技師、医療事務員など実に多くの職種が輪を築いて診療に当たっています。近年は「ファミリーセンタードケア」といって、ご両親・ご家族も、共にこの強力な輪のメンバーの一員となって「協働する」ことが、その後のお子さん自身の将来に役立つことが分かってきました。ぜひ、お子さんの最善の利益に向かって共に邁進しましょう！



新生児科部長
中尾 厚
Atsushi Nakao

『医療安全標語コンテスト』を開催

2024年度も「医療安全推進週間」に合わせて、恒例の「医療安全標語コンテスト」を開催しました。一般利用の方と職員に応募と審査に参加いただき、78作品の中から選ばれた優秀作品をご紹介します。

作品からは、「フルネームでの本人確認」、「違和感を感じたら立ち止まり相談・確認をすること」の大切さが伝わってきます。

医療の現場は、常に危険や想定外な事と隣合せです。当センターでは、安全のための仕組み作りを患者さんも参画して取り組んでいます。今年度も皆さんと一緒に参加できるイベントを考えていますので、ぜひご協力ください。

医療安全推進室 **大久保 英恵**
Hanae Okubo



表彰式後にパシャリ

受賞作品

院長賞

思い込み
その自信が 事故の元

金賞

何度でも
お訊ねします 君の名は

銀賞

「カトウさん」「は～い」と
返事をしたのはサトウさん

銀賞

気をつけて！
慣れと疲れと忙しさ

銅賞

念のため
やったチェックで 救われる

銅賞

ちょっとへん
その手を止めて まず確認



院長と受賞者でパシャリ

院長賞受賞者のコメント

数ある作品の中から院長賞に選出していただき、大変光栄に思っております。これからも日々の職務を行ううえで、この標語を心に置き、患者さんのため病院のため安全に努めてまいります。

待ち時間なしの医療費決済サービス「待たずにラク～だ」利用できます

診察が終わってから会計までの時間が長い……医療費後払いクレジットカード決済サービス「待たずにラク～だ」なら、診察後、会計を待たずに帰宅できます。ぜひご利用ください。

待たずに
ラク～だ

- 申込方法** ウェブサイトで申込み、申込完了後15分で利用できます。待ち時間に登録し、即日利用も可能(専用アプリ不要)
- 利用方法** 再来受付機の隣、後払い受付機で「後払い利用票」受取り診察後、利用票と会計ファイルを各科窓口へ提出するだけ
- 決済通知** 診察後21日後、自動的にクレジット決済完了と決済額を、都度、メールお知らせ
- 選択機能** 領収書と明細書のウェブ閲覧も可能(機能の利用同意必須)





「オクラとしらすの梅和え」

当センターの栄養課の職員がおすすめする体にも心にも優しい、食べたら思わず笑顔になってしまうようなレシピを紹介するスマイルレシピ！今回は高橋明希管理栄養士が紹介する「オクラとしらすの梅和え」です。

材料 (2人分)

- オクラ …………… 8本 80g
- しらす …………… 10g
- 梅干し …………… 1粒 10g
- めんつゆ (2倍希釈) …… 大さじ1



作り方

- ① オクラは塩 (分量外) をまぶし板ずりをして、熱湯でさっとゆでる。5mm幅の輪切りにする。
- ② 梅干しは種を取り、包丁でたたく。
- ③ ボウルに②とめんつゆと混ぜあわせる。
- ④ ③に①としらすを加えて軽く和え、器に盛り付ける。



さっぱり食べられて
食物繊維もいっぱい

栄養成分 (1人あたり)

- エネルギー …………… 25kcal
- たんぱく質 …………… 1.9g
- 脂質 …………… 0.1g
- 炭水化物 …………… 4.7g
- 食塩 …………… 0.8g
- 食物繊維 …………… 2.2g

使用する材料の効果

夏に旬を迎えるオクラのネバネバ成分は、水溶性食物繊維のペクチンです。水溶性食物繊維にはお腹の調子を整える整腸作用だけでなく、血糖値の上昇を緩やかにし、コレステロールの吸収を穏やかにするはたらきがあります。今回は暑い時期にさっぱりと食べられるよう、しらすと梅干しを組み合わせってみました。ご飯のお供としてだけでなく、冷奴のトッピングとしてもおすすめの一品です。



栄養課
高橋明希
Aki Takahashi

たくさんのご寄付や応援をいただきありがとうございます。

日本赤十字社医療センターへご寄付いただき、誠にありがとうございました。皆さまからの貴重なご寄付は、医療機器・材料の購入費などを含めた「病院事業運営資金」として大切にに使わせていただきます。ご芳志への感謝の気持ちを込め、ご芳名を紹介させていただきます。なお、許可をいただいた個人、法人および団体名のみを掲載しています。

- 米村 修一さま
- 佐々木 愛子さま
- 斉藤 昂祐さま
- 渡辺 美奈さま
- 市島 啓一さま

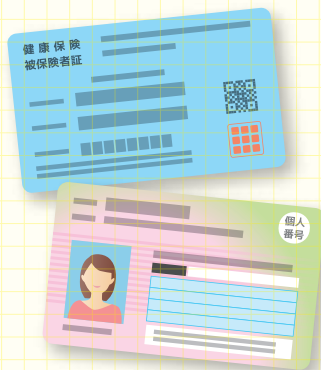
※順不同 (2025年2月から4月まで)

手続きラクラク。マイナ保険証 が、あなたの医療を快適に

2024年12月2日以降、従来の健康保険証は新規発行されず、医療機関を受診する際は、健康保険証として利用登録済みのマイナンバーカードまたは資格確認書の提示が必要です。

マイナンバーカードを健康保険証としてご利用いただくと、医療機関での受付がスムーズになります。さらに、過去の診療・服薬情報も確認できるようになるため、より適切な医療が受けられます。健康保険証としての利用登録は、マイナポータルや顔認証付カードリーダーで簡単に行えます。

当センターでは、初診窓口前、入院受付前、救急窓口の計3か所に顔認証付きカードリーダーを設置済みですが、再来受付機への設置も準備をすすめています。より快適に受診いただけるよう取り組んでまいります。



マイナ保険証ポスター

>>> 診察のご案内

月	火	水	木	金	土	日
○	○	○	○	○	休診	休診

● 外来休診日…

土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）、日本赤十字社創立記念日（5月1日）

● 受付時間… **予約のない方** ▶ **初診・再診** 8:30～11:00

予約のある方 ▶ **初診** 8:30（初診受付開始）～予約時間の30分前
再診 7:50（再来機開始）～予約時間の20分前

※受付時間は診療科によって異なりますので、事前に診療科受付へお問い合わせください。また、初診の方は「かかりつけ医からの紹介状」をお持ちください。

● 急病の場合…

曜日、時間に関係なく、救急外来で診察します。ご来院の前にお問い合わせください。

※診療状況によっては、診察をお断りする場合がありますので、当センターホームページをご確認ください。

● 診察カード…

全科共通でご使用できます。ご来院のときは必ずお持ちください。紛失・破損した場合は、初診受付にて再発行できます。
※再発行料：1枚 220円（税込）

● 健康保険証…

ご来院のときに確認していますのでお持ちください。また、保険証の更新・変更時には必ず受診科受付にご提出ください。

● お薬手帳…

安全な医療を提供するために、「お薬手帳」などをお持ちください。必要に応じて確認させていただきます。

TEL（代表）

03-3400-1311

日赤医療センターの情報

※外来診療の再診スケジュールは、ホームページでご確認ください
※本誌のバックナンバーは、ホームページ上で PDF 版をご覧ください

赤十字全般に関すること

<https://www.jrc.or.jp>

日赤医療センターに関すること

<https://www.med.jrc.or.jp>

日赤医療センター
ホームページ



日赤医療センター
YouTube



日赤医療センター
Instagram

